

富山高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	経済学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0057			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	機械システム工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	後期:2		
教科書/教材	【教科書】特になし／【関連図書】マクロ経済学に関する入門レベルのテキスト						
担当教員	金 奉吉						
到達目標							
①経済の動きを理論的に見る目を養う ②経済の動きについて理論的に考える力を養う ③経済社会は様々な繋がりによって成り立っていることを知る							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
経済の動きを理論的に見る目を養う	モデルを使って現実の問題に対処する方法を知る			経済理論モデルを理解し、その経済的意味を知る		基礎的経済変数の意味が理解できない	
経済の動きについて理論的に考える力を養う	経済変数の変化に伴う経済状態の変化をモデル分析できる			経済モデルの意味を理解する		基本的な経済変数間の関係が理解できない	
経済社会は様々な繋がりにより成り立っていることを知る	経済変数の変化が経済全体にどのような変化をもたらすかについて、様々なモデルを通して分析できる			様々な経済モデルを理解し、それを通して経済社会の様々な繋がりを知る		基本的な経済変数間の繋がりが理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-6 JABEE 1(2)(a) ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	学習目標(授業の狙い) 一国経済全体の動きに関するマクロ経済学の基礎理論を学び、現実の経済現象を理解するための基礎知識を習得する。						
授業の進め方・方法	講義						
注意点	授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合がある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	マクロ経済学とは		マクロ経済学とはどのような学問かを説明		
		2週	国民経済計算 その1		GDP(国内総生産)、消費、投資などの説明		
		3週	国民経済計算 その2		GDP(国内総生産)、消費、投資などの説明		
		4週	国民経済計算 その3		GDP(国内総生産)、消費、投資などの説明		
		5週	消費と貯蓄 1		消費と貯蓄はどのように決まるかを説明		
		6週	消費と貯蓄 2		消費と貯蓄はどのように決まるかを説明		
		7週	需要誘導型モデル 1		GDPはどのように決まるかを説明		
		8週	需要誘導型モデル2		GDPはどのように決まるかを説明		
	4thQ	9週	中間試験				
		10週	生計費の測定1		消費者物価指数はどのように計算されるのかについて説明		
		11週	生計費の測定2		インフレーションとその影響について説明		
		12週	貨幣需要 1		貨幣の役割とその需給の説明		
		13週	貨幣需要 2		貨幣の役割とその需給の説明		
		14週	開放マクロ経済学1		開放マクロ経済学における基礎知識について説明		
		15週	開放マクロ経済学2		国際取引における為替レートの影響について説明		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0